ふるさとのうた　俳句

剣淵文化協会俳句部会

過疎なれどこの夜にぎわう盆太鼓　**西町　金澤　賴子**

朗朗と聞えし吟や天高し　**元町　印牧　安子**

雨あらしされど艶もて秋茄子　**緑町　齋藤　嘉子**

襟足に秋の気配や風ゆらぐ　**仲町　坂部　和子**

残菊の蜜蜂（みつばち）に詫び一輪さし　**元町　西崎　弘子**

夏休み終りて祖父母元の日々　**屯田町　古屋　克江**

こおろぎや母恋唄のころころと　**仲町　梅基　敬子**

ベランダをうめて朝顔咲きにける　**西岡町　児玉　洋子**

ど忘れやがくんと胸を叩く秋　**屯田町　伊藤　タカ**

ひかえめに話す女人やこぼれ萩　**藤本町　池田　良子**

はるばると花束とどく敬老日　**旭町　宝澤　房子**

ひらなみの杜ごと暮るる芒原　**仲町　玉野　研一**

下舞屋（したまや）の庭に一叢紅芙蓉（ひとむら）　**仲町　徳井　隆男**

ひとり言愚痴とも聞こゆ残暑かな　**元町　竹内スミエ**

秋茄子の摘みとるトゲの痛さかな　**南桜町　宮腰　幸子**

農泣かす秋晴ひと日雨三日　**西岡町　渋谷みさ子**

遠山も小雨にけむり茄子の花　**旭町　大河　茂**

浴衣着る帯は蝶々の大き目に　**西町　小畠アキ子**

雨を呼ぶ蛙の声の声かれて　**西町　岸波　君江**

よりそうて流しソーメン掬いおり　**藤本町　高井　孝子**

次々と白き顔出す芋拾ろう　**東町　高橋世津子**

盆参り六代の恩かみしめて　**西岡町　高瀬久美子**

新涼や淡き色選り佛花とし　**東町　高草木喜代子**

沁みじみと夜通し虫の鳴くばかり　**西町　文梨　清子**

サックスの音色流れていわし雲　**西町　前橋　芳香**

かなしみの癒えぬ列島無月かな　**旭町　大河内清枝**

共に古希語る友あり温め酒　**仲町　芳賀　星子**

information 絵本の館から

今月のおすすめ絵本

新着図書

・世界の家　シュミッド　著

・黄泉から来た女　内田康夫　著

・密売人　佐々木譲　著

ほか

パパのしごとはわるものです

板橋雅弘　文
吉田尚令　絵
岩崎書店

いつの時代も子どもたちをわくわくさせていた正義の味方は、悪者がいなければ活躍の場もありません。そのために、誰かが悪い役に回らなくてはなりません。子どもは皆、自分の親がヒーローであってほしいのですが…。子どものためにも、大人は常に正しい行動をしていたいです。

パパ、おばけがいるよ。

ヒド・ファン・ヘネヒテン　文・絵
フレーベル館

心霊現象のほとんどは人間の「勘違い」だ、と言う方がいました。確かに、怖がりさんは物音を聞き間違えて「変な声が聞こえる！」などと震えることがあります。お子さんが「おばけだ！」と怖がったら、「いるわけないよ」と冷たく返さず、一緒に見て安心させるといいですね。